



# 園だより 1月号

令和8年1月8日  
中野区立ひがしなかの幼稚園  
園長 宮本 実利  
<http://nk-higasinakano-k.a.la9.jp/>

「ワクワクする三学期です」

園長 宮本 実利

新年明けましておめでとうございます。

2026年、今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。活力、行動力、前進、情熱を象徴し、新しい挑戦や飛躍によい年と言われています。炎のような情熱と勢いのある年となるので、これまで迷っていたことにチャレンジすると追い風が吹き、物事がよい方向に動くと言われています。また、人とコミュニケーションを図ることで、運気が上がる年でもあるそうです。いろいろな人との対話を大切にしながら、新しいことにも挑み、子どもたちの健やかな心と体の成長を支えていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、子どもたちは冬休みの間、身近に起こる様々な出来事を通して心を動かし、楽しくたくましく過ごしてきたことでしょう。今日から始まる三学期は、今年度の集大成の時期です。そして、「〇〇組、楽しかった」「初めはうまくいかなかったけれど、挑戦したらできるようになったよ」「次は〇〇組（一年生）、早くなりたいな」「楽しみだな」子どもたちのワクワクする気持ちがあふれる時期です。子どもたちが、自分の成長を実感して充実感をもって終え、自信をもって次に向かって一歩踏み出せるようにしていきます。

二十四節気の「小寒」に入り、もうすぐ「大寒」を迎える一年で最も寒い時期となります。冬の寒さも自然の中では大切な時期です。日々の寒さの中にも楽しいことを見付けながら、三学期一日一日を大切に過ごしていきます。毎日元気に通えますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



## 保幼小中連携教育

中野東中学校区の各校・園で行っている研究会に互いに参加し学んでいます。12月には、谷戸小学校の公開授業があり、5年生の授業では「台形の面積の求め方」をグループで考えて発表し、互いの考えを共有していました。授業の中では、児童が主体的に考えを深めていけるような環境の工夫や互いに話し合えるような工夫がされていました。教師が一人ひとりの意見を認めて言葉をかけたり、自由に友達と話し合える雰囲気づくりがされていたことで、児童が自然と自分たちで意見を出し合いながら、学級全体で「主体的・対話的で深い学び」が実現されていました。

幼稚園でも、自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見を受け止めたりできるような友達との関わりを大切にしています。遊びの中で、友達と一緒に集って過ごせるような環境づくりをしたり、思いがぶつかる場面では、教師がモデルとなって一人ひとりの思いを言葉にして受け止めたり、相手の気持ちに気付いて受け止められるように言葉かけをしたりしています。そのような経験を積み重ねていくことで、小学校で友達と意見を共有しながら考えを深めていく力につながっていくのだと感じました。

